



イルカの基礎知識 (歯)

イルカは「歯」をもつ歯クジラという種類になります。同じクジラ類のなかでも、大型になるとヒゲクジラといって、歯の代わりに「クジラヒゲ」をもつ仲間もいます。

一番大きな歯クジラは、マッコウクジラで、歯は下あごだけにしか生えませんが、数は40〜50本ほど。

いっぽう、天草に住んでいるミンナミハンドウイルカは、上下あわせて60〜80本の歯が生えています。イルカたちは、エサをつかまえてくわえるために歯を使います。人間とはちがいで、口の中でもぐもぐかんで小さくすることはなく、そのまま丸のみをするため、すべての歯は同じ形(円すい形)をしています。



特ちょう



- ① 生涯、生え変わらない
- ② 年れいを調べることができる
- ③ イルカの種類によって歯の形がちがう

珍しい「歯」

イルカの仲間である
イッカク(冷たい海に生息)

「つの」にみえるのは

実は、上あごから

唇を突き抜けて

出てきた前歯

長いと3m!!
になることもあるんだよ



私がイッカクです、よろしくね

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

facebook



やってるよ!



基本的には口を閉じているので、野生イルカの歯を見ることはとってもレア! エサを追いかけているときにチャンスなので口元に注目してみよう。それがいいには、たまに口をパカパカ開閉して、その音がひびいていることもあるよ。音遊びをしているのかな?



Amakusa SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカ調査室



amakusa_dolphin



検索